



# 麻布幼稚園だより 7月号

平成26年6月27日 港区立麻布幼稚園 園長 大島 美知代

## 「人とかかわる」

園長 大島 美知代

1学期の最後の月を迎えました。今までの3か月間、どんな思い出ができましたか。

年少組は4月から園児になり、幼稚園という社会に出ました。年中組、年長組から麻布幼稚園に入園した子どもたち、6、7月に入園した短期入園の子どもたちは、麻布幼稚園の仲間、園児になりました。先生や友達と毎日いろいろな体験をします。園生活の中で友達や先生とかかわり、「楽しいねえ」「友達にうまく伝わらなくて悔しかった!」「わぁおもしろい」等、様々な感情がわき起こり、それに対して考えて対処しています。

例えば、『楽しい』時や『おもしろい』時は、その楽しさを伝え合い、友達と共有したい気持ちが起こります。どうしたら伝わるかを考え、一生懸命言葉や身振り、手振りを使って伝えます。友達が一緒に『楽しいね』『やったね!おもしろいねえ』と言えたら最高です!

『悔しい』時や『悲しい』時は感情も高まり、悔しがったり、泣いてしまったりするかも知れません。しかし、泣いてばかりいられません。感情がおさまったら、どうにかこの気持ちを伝えたい、この状況を解決したい、と思うことでしょうか。このような時は自分の気持ちを言葉で訴えたり、分かってくれる先生を呼んだりして分かかってほしいと行動すると思います。集団生活の中で園児は『人とかかわる』ことを日々学んでいるのです。

先日第1回の評議員会を開催しました。その評議員会の中で、評議員の一人からこのようなご意見をいただきました。

「3歳児から5歳児まで人とかかわるのを楽しそうにしている。麻布幼稚園の園庭や保育室の環境のよさを発信していくとよいと思う。環境の中で遊び、園児が人とかかわりをたくさん学んでいる。このことを保護者にも伝えて、保護者も『人とかかわること』と一緒に学んでいくとよいと思う。今大学生の食堂では「ぼっち席」というのが好まれているそうである。「ぼっち席」とは、一人ぼっちで食事をする席、誰にも邪魔されずに一人でスマートフォンを見て食事する大学生が多い、という状況である。このことを聞いてとても心配になった。」ということでした。

私も同じように思いました。人とかかわりを面倒臭く感じ、何でも自分の思い通りに行動することだけを優先していいのだろうか。人とかかわり、自分の思いを伝えたり、自分の思いが通らないときには我慢したり、解決しようと考えたりすることがとても大切だと思いました。

麻布幼稚園の保護者となった皆さん、園児の成長のために『楽しい』こと、『困ったこと』などがあったら、解決の第1歩は『人とかかわり』です。人に伝えたり、相談したりしながら園児の成長のために一緒に進んでいきましょう。